

核燃料サイクル工学研究所原子力防災訓練中期計画（令和元年～令和3年度）

令和2年7月7日
核燃料サイクル工学研究所

<p>今中期計画の目的</p>	<p>核燃料サイクル工学研究所において、原子力災害が発生した時に原子力防災組織が有効に機能することを確認する。今中期計画では、関係箇所への確実な情報提供・情報共有、現地対策本部の通信設備等が使用できない状態での通報連絡及び複数の施設でEAL事象の発生時における対応について、段階的に目標設定を高め、関係箇所への正確な情報提供、対応体制の強化を図ることを目的とする。</p>				
<p>前中期計画の課題</p>	<p>今中期計画期間中の訓練項目（目指すべき姿）</p>	<p>年次計画</p>			<p>次期（令和4年度～令和6年度）中期計画の方針及び実施の概要</p>
<p>・「事象進展対策シート」、「発生事象状況確認シート」等の視覚情報を用いた正確な情報提供及びブリーフィングの実施について、運用が確立できていない。⇒訓練目標①及び②において達成度を確認する。</p> <p>・訓練中に通信が困難な状況が発生するシナリオを想定した、代替手段の活用による情報収集、情報発信について、検証ができていない。⇒訓練目標③において達成度を確認する。</p> <p>・原災法対象の複数施設でEAL事象が発生したシナリオを想定した、現地対策本部の情報収集、情報発信、応急措置の対応力について、検証ができていない。⇒訓練目標④において達成度を確認する。</p> <p>・限られた緊急時対応要員での初動対応となるシナリオを想定した、通常の状態より少ない要員での応急措置、関係箇所へ情報発信について検証ができていない。⇒訓練目標⑤にて達成度を確認する。</p>	<p>訓練目標① 「事象進展対策シート」、「発生事象状況確認シート」等の視覚情報を用い機構内外に正確な情報提供ができる。 【機構大の中期計画作成方針を踏まえた目標設定】</p> <p>訓練目標② 発生した事象の対応状況及び今後の対策等についてのブリーフィングが簡潔に短時間ででき、機構内で情報共有できる。 【機構大の中期計画作成方針を踏まえた目標設定】</p> <p>訓練目標③ 現地対策本部の通信設備等が一定時間使用不能な状態になった場合においても、代替手段を活用し関係箇所へ通報連絡ができる。 【機構大の中期計画作成方針を踏まえた目標設定】</p> <p>訓練目標④ 原災法対象の2施設でEAL事象が発生した状況においても、現地対策本部は情報収集、関係箇所に通報連絡、応急措置の指示ができる。 【機構大の中期計画作成方針を踏まえた目標設定】</p> <p>訓練目標⑤ 初動対応で、通常の状態より要員数が少ない状況（指揮者が不在の状況）で情報の発信ができる。</p>	<p>令和元年度</p> <p>・「事象進展対策シート」、「発生事象状況確認シート」等の視覚情報を用い機構内外に正確な情報提供ができること。 ※本件は令和元年度中の達成を目指す。</p> <p>・現地対策本部は、各防災施設の現場対応班と簡潔に短時間でブリーフィングし、発生事象の対応策について機構内で情報共有できること。 ※本件は令和元年度中の達成を目指す。</p> <p>・防災施設のうちの1箇所の現場指揮所において、機構TV会議システムが一時的に使用不能となった場合は、代替手段を活用した情報共有ができること。</p>	<p>令和2年度</p> <p>・継続確認。 （前年度訓練において、「発生事象状況確認シート」と「通報文」に記載した中性子線用エリアモニタの指示値上昇の確認時刻に不整合が生じた。本年度は、本課題に対する改善策が有効に機能することを確認する。）</p> <p>・継続確認。</p>	<p>令和3年度</p> <p>・継続確認。 （前年度の課題がある場合は、改善策が有効に機能していること。）</p> <p>・継続確認。 （前年度の課題がある場合は、改善策が有効に機能していること。）</p>	<p>1. 方針 次期中期計画は、機構大の「原子力防災訓練中期計画の作成方針」に基づき作成する。原子力防災組織が原子力災害発生時に有効に機能することを確認するため、訓練を通じて課題・問題点を明らかにし、PDCAを回しながら継続的に改善を図り、防災体制の強化、対応能力の向上を目指す。</p> <p>2. 実施の概要 (1) 訓練目的 難度を高めた訓練想定を設定し、現地対策本部、現場指揮所及び機構対策本部における応急措置対策の対応力、防災要員等のスキルアップを図ることを目的とする。</p> <p>(2) 達成目標 ・ 機構対策本部への円滑な情報提供体制の構築 ・ 原子力事業所災害対策支援拠点、原子力緊急事態支援組織等との協力体制の構築</p> <p>(3) 訓練想定 事態進展により複数施設で特定事象が同時に発災する原子力災害を想定するなど、訓練の難易度を上げるとともに、シナリオの多様化を図る。</p> <p>(4) 訓練項目 令和3年度までの訓練項目及び達成目標を踏まえた訓練項目を計画する。</p>
<p>訓練シナリオに係る内容のためマスキング実施</p>					

